

新型コロナウイルス蔓延を防ぐための対応について

新型コロナウイルス蔓延を防ぐための対応について

新型コロナウイルス感染症について、ワクチンや特效薬がありませんし、まだわからないところも多いようです。しかし感染が発生し、学生間での感染拡大がみられたりすれば、社会的に大きな問題となるだけでなく、授業の実施や皆さんの生活にも大きな影響が出る恐れがあります。感染が広がってからでは抑え込むことは難しくなります。感染が見られないうちから、十分な配慮をしながら行動することが大切です。文星芸術大学・宇都宮文星短期大学の学生の皆さんが、責任を自覚した行動をとることによって、新型コロナウイルス感染症に打ち勝ちましょう。

■ 感染と症状

新型コロナウイルスについては、感染しても症状が出るまでに1週間ほどかかる、特に若い人の場合には症状が出にくい場合があるなど、インフルエンザとは異なった症状が見られます。このため、**本人が気づかぬうちに他人に移してしまう**ということにもなるわけで、**若い人ほど感染拡大に気をつけなければならない**と自覚することが大切です。

■ 体調と衛生の管理

体温測定をして自己管理することで体調の変化に早めに気づくことができます。また、普段の手洗いに心がけ、学内各所にアルコール消毒剤を設置しているので使うようにしてください。

■ 登校を控える場合

初期症状では風邪と区別ができません。**体調の変化があった場合には直ちに登校を控え**、悪化が見られる場合には自己判断せず、**各地域の保健所相談コールセンターに相談の上指示に従って**ください。

感染が明らかになった場合には、症状がなくても登校が禁止になりますので厳守してください。

■ 密閉、密集、密接（3密）に注意

狭い空間、多くの人、近い距離の3つの「密」が集団感染の発生を高めます。対面での飛沫感染など明らかですが、大きな声や息をすることも、肺内のウイルスの拡散につながるようです。お酒を飲んだりカラオケで歌ったりするとどうしても大きな声になり、スポーツをすると息が弾むわけですが、こうしたことが感染しやすい要因になっているようです。

こうした**仕組みをよく理解しながら、実質的に3つの密につながっていないか気を付けて行動**することが大切です。

■ 咳エチケット・手洗いを徹底

花粉症も含めて、**くしゃみや咳が出る場合には、必ずマスクを着用し、飛沫感染防止に心がけて**ください。

■ 海外への渡航と帰国

学生及び教職員の海外渡航は中止又は延期してください。また、海外からの帰国・入国の際には、国からの要請に従った待機等を行うほか、その他の場合も含めて**2週間の自宅待機と体温測定**を行ってください。